



学校通信

No. 11 令和2年10月28日(水)

篠栗北学園 篠栗町立篠栗北中学校 校長 橋 口 公 一

創 練 自 校
造 磨 立 訓



学校ホームページ

1 文化発表会 生徒会役員の熱い思い

スローガン「百花斉放～新たな文化の発信～」

10月20日(火)に文化発表会が行われました。今年度は新型コロナウイルス感染予防のため、合唱コンクールは実施されませんでした。午前中に、ステージ発表として、吹奏楽部の演奏、英語朗読、弁論、全校生徒で制作したモザイク画の披露、午後は、3か所の会場に分かれて「88タイム」の各コース代表発表がありました。今年のスローガンは「百花斉放～新たな文化の発信～」です。「百花斉放」には、「学問、科学、文化芸術活動などが活発に行われること」という意味があります。また、「新たな文化の発信」には、「コロナ禍だからこそ、「自分たちでできることを考え、自ら発信していこう」という意味が込められています。今年、生徒会長の「自分たちの手でできることをやりたい」という熱い申し出により、生徒会役員による太鼓の演奏が行われました。音楽に合わせた新しい形の演奏に引き締まったかけ声は大変素晴らしいものでした。また、全校生徒で制作したモザイク画も素敵な仕上がりになりました。



【生徒会役員による太鼓演奏】



【モザイク画の披露】

2 自ら「問い」をもって学び続け、学びを地域に発信する生徒の育成

ステージ発表の部「吹奏楽部演奏、英語朗読、弁論」

午前中、吹奏楽部は「紅蓮華」と「Paradise Has No BORDER」を演奏しました。2曲目は、「楽園に国境はない」という意味で、「篠栗北中学校の生徒も境界線なく、皆が、仲良く安心して過ごせるように」という願いを込めて演奏されました。途中、教員4名が、リズムによって会場を盛り上げました。生徒の皆さんからも手拍子がわき起こり、大変楽しいひとときを過ごすことができました。その後、7名の生徒が「かわいそうな象」の英語朗読をしました。流暢な英語は圧巻でした。また、弁論では、「世界中の人が笑顔で暮らせるように貧困をなくしたい」、「黒人差別は許されない」、「ジャカルタでの生活から日本の当たり前を見直そう」と、3名の生徒が提言をしました。保護者の方からは、「吹奏楽の踊り子さんが楽しさを表現していてよかった」や「弁論はよく調べていた。皆、はっきりと述べていて感動した」などの感想をいただきました。



【盛り上がった吹奏楽部の演奏】



【堂々とした弁論発表】

3 学校・地域・家庭が一体となった取組の充実

第2回篠栗北学園運営協議会の開催

10月20日(火)の文化発表会には、篠栗北学園運営協議会の皆様にも御来校いただき、「88タイム」の参観後に、「自信をもって表現する児童生徒を育てるには」というテーマで熟議を行いました。生徒が自信をもって表現できるようになるために、自分で課題を見つけ探究する「88タイム」は大変有効な学習活動であることが確認できました。また、発表者だけでなく、聴く人の質問力や発表会場の場の雰囲気づくりも大切であることなど貴重な意見が交わされました。



【学園運営協議会の熟議】